

第 22 回旭川市医師会女性医師部会市民講演会 (WEB開催)「目の病気」

旭川市医師会女性医師部会

副部会長 宮 本 晶 恵



旭川市医師会女性医師部会は、2003年から毎年、市民の方に向けての市民講演会を開催しております。以前は、会場で市民の方に集まっていただいて開催していましたがコロナ禍以降、旭川市医師会のホームページから YouTube 配信をしております。第 20 回は『ポストコロナのメンタルヘルス』、第 21 回は『感染症とワクチン』をテーマとして現在も配信中です。

今年度、第 22 回市民講演会は、『目の病気』として、旭川医科大学眼科学講座 教授 長岡泰司先生から「より良い視力を保つために」をテーマにお話ししていただきました。

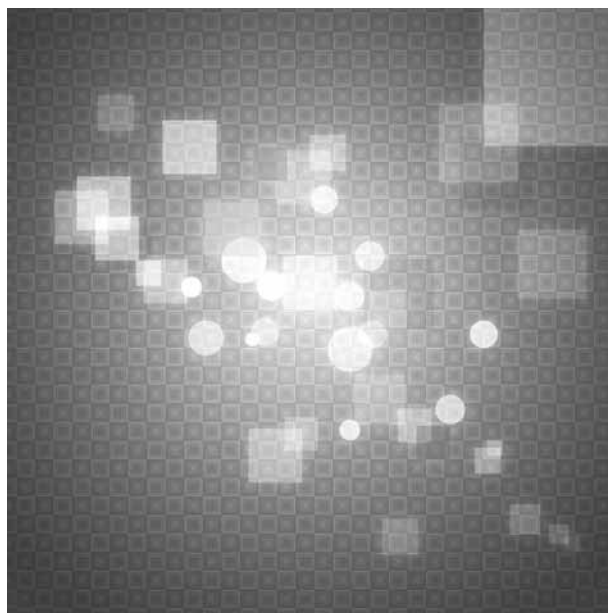
人が情報を得る五感のうち、視覚は、情報の 80% を取り入れるとても重要な機能です。高齢化社会になり、多くの方が、視力の問題に直面しているのではないのでしょうか？眼科で行われる検査：視力検査、眼圧検査、視野検査、細隙灯顕微鏡検査、眼底検査などについて丁寧にご説明していただきました。眼科に行く前、あるいは手術を勧められた時などに、目の機能、目の検査など、基礎知識を得ておく不安も取り除くことができますと思います。配信は、何度でも繰り返し視聴ができますので、そんなメリットも活かしていただくと良いでしょう。

また、検査の時の注意点をご講演の中で、指摘されておりました。眼底を診るために、散瞳剤を使用するので、検査後は車の運転は控える必要があります。このようなことも、前もって知っておくと良いでしょう。

そして、主な目の病気、網膜剥離、加齢黄斑変性、白内障、緑内障などについて、ご説明いただきました。白内障手術については動画でご説明いただきました。

また、「緑内障」は、視野が障害される病気で、視力は保たれるので気づきにくい病態ですが、緑内障が進行すると元には戻らないので、早期発見・早期治療が重要とのことでした。

現在は、ネット環境で、いろいろな情報が手に入りますが、旭川市医師会女性医師部会は、皆さまの身近な健康に関する情報を、信頼のできる講師からお送りしております。「旭川市医師会のホームページ」から、これまでの市民講演会の配信も合わせてご覧いただければ幸いです。



目の健康講座2026 より良い視力を保つために

旭川医科大学眼科学講座

主任教授 長岡泰司



旭川医科大学眼科学講座の長岡泰司と申します。第22回旭川市医師会女性医師部会市民講演会において、「目の病気」についてお話しをさせていただきました。

当日司会をお務めいただいた旭川市医師会女性医師部会 副部長 宮本晶恵先生には、学生の時の臨床実習や、眼科医として働いてからも患者様の御相談などで、大変お世話になりました。宮本先生からご依頼をいただき、旭川市民の皆様にも何かお役に立つ目の話しをと思い、できるだけわかりやすい説明を心掛けました。

ぜひご視聴いただき、皆様からご意見を頂戴できますと幸いです。

私たちは、毎日の生活の中でたくさんの情報を「目」から受け取っています。見ることは、歩く、食べる、本を読む、人の顔を見分けるなど、普段の暮らしにとっても大切です。目はカメラのようなしくみをしており、入ってきた光が網膜に映り、その情報が視神経を通過して脳に伝わることで、「見える」と感じます。

眼科では、視力、眼圧、眼底、視野などを調べて、目の病気がないかを確認します。見えにくさの原因は、近視、遠視、乱視のようなピントの問題だけではなく、白内障、緑内障、加齢黄斑変性、網膜剥離など、早く見つけたほうがよい病気が隠れていることもあります。

とくに緑内障は、自覚症状がほとんどないまま進むことが多い病気です。見える範囲が少しずつ狭くなりますが、初めのうちは気づきにくいのが特徴です。しかも、一度失われた視野は元に戻すことができません。

そのため、症状がなくても定期的に眼科で検査を受けることが大切です。眼圧が正常でも起こるタイプの緑内障もあるため、眼圧だけでは安心できません。

また、急に飛蚊症が増えた、光がピカッと見える、見える範囲が欠ける、急に見えにくくなった、というような症状があるときは、早めに眼科を受診することが重要です。網膜剥離など、早い対応が視力を守ることにつながる病気もあります。

目の病気は、早く見つけて、早く治療することが何より大切です。「年のせいかな」と思って放置せず、少しでも気になることがあれば眼科に相談しましょう。大切な視力を長く守るために、日ごろから目を労り、定期的な検査を心掛けることが大切です。

